

授業作り	重 点	学年に応じたペア学習やグループ学習を設定し、児童の主体的な学びを展開する。
環境作り		実態に応じた家庭学習、デジタルドリルの活用による語彙の獲得と既習事項の定着を図る。

■ 学年の取組について

学 年	学習状況の分析 (各種調査から)	学校が取り組む目標 (日常の授業の様子から)	目標達成のための取組
1 学 年		・自分の思いをもち、話したり、書いたりすることで、アウトプットする力を付ける。 ・相手の考えを受け入れ、相手に自分の考えを伝えようとする意欲を高める。 ・数の構成を正しく理解し、活用する力を確実に定着させる。	①日常的に、心と体で聞く姿勢を繰り返し指導 ②語彙表を用いた語彙獲得のための学習 ③友達同士の考えを聞く場の設定 ④音読やあいさつで声を出す場の設定 ⑤自分の意見を発表する場の設定 ⑥家庭学習も活用した反復練習
2 学 年		・個別対応によって、学習課題に対する個々の理解と主体的な取組を向上させる。 ・自分の思いや考えを適切な語彙で表現する力を育成する。 ・漢字学習における定着度を向上させる。 ・くり上がりやくり下がりのある計算で正しく速く計算する力を定着させる。 ・他者の意見を聞いて自分の考えをもち表現する力を育成する。	①児童一人ひとりに即した課題の設定 ②家庭学習の定着を図るために家庭との密な連携 ③読書の推進と全ての教科等での語彙表の活用 ④視写による漢字指導 ⑤計算練習の時間の継続的な確保 ⑥互いの良さを認め合う場の設定 ⑦グループ学習の場面の設定
3 学 年	新宿区学力調査の結果から ・国語科において、話の順序を意識して聞き取れていない児童が多い。 ・国語科において、場面の様子を読み取る際に、文章の細部の表現に着目できていない児童が多い。 ・算数科において、計算（特に引き算）の力が定着していない児童が多い。 ・自分の考えを式や言葉を用いて適切に説明できない児童が多い。	・相手の伝えたいことを、順序を意識して聞き取る力を身に付けさせる。 ・言葉と言葉のつながりや、文章と文章のつながりを意識して場面の様子を読み取る力を身に付けさせる。 ・大きな桁数の計算や、くり上がりやくり下がりのある計算などの技能が必要な計算が正しくできる力を身に付けさせる。 ・自分の考えを相手に分かるように説明する力を身に付けさせる。	①様々な教科におけるペアでの対話場面の設定 ②朝学習における対話的な活動 ③細やかな読み取りと、文章全体を通した読み取りを両立した指導 ④国語辞典の積極的な活用 ⑤計算練習の時間の継続的な確保 ⑥デジタルドリルの活用

4 学 年	新宿区学力調査の結果から ・国語科において、漢字を正しく使い言葉の使い方を理解している児童が多い。 ・国語科において、物語文で登場人物の心情について書き抜いたり、選んだりすることはできるが、まとめることができていない児童がいる。 ・基本的な計算を行うことができているが、大きい数や0を含む計算になると定着していない児童もいる。 ・数量の関係を式に表すことができていない児童もいる。 ・立体図形の頂点や辺の関係についての理解が定着していない児童が多い。	・さらに様々な言葉を使うことができるよう、語彙を増やしたり、活用したりできるようにする。 ・物語文や説明文を読んで、心情や伝えたいことを捉えながら自分の考えを書いたりまとめたりできるようにする。 ・基本的な計算力の定着や、くり上がりやくり下がりのある計算、空位の0を含む計算を正しく行うことができるようにする。 ・自分の考えを言葉や式で表し、伝えることができるようにする。 ・立体図形の模型等を積極的に提示し、触れたり数えたりしながら、頂点や辺の関係について理解できるようにする。	①語彙表や国語辞典の積極的な活用 ②叙述をもとに自分の考えを伝える指導 ③日記や振り返り等、継続的な書く活動 ④計算練習の時間の継続的な確保 ⑤ペアでの対話場面の設定
5 学 年	新宿区学力調査の結果から ・国語科において、文章の大まかな流れの読み取り、聞き取りはできるが、細部まで詳しく聞いたり、書いたりすることに課題のある児童が多い。 ・算数科において、計算処理の能力は高いが、図形の性質や問題を正しく理解することに課題がある児童が多い。	・学習に対する意欲や、知識欲を生かし、自分の意見を積極的に述べようとする態度を育成する。 ・学習規律を整え、説明を最後まで聞けるようにする。 ・題意を正しく理解し、見通しをもって学習しようとする意欲を向上させる。	①児童が興味・関心をもてるような授業の導入の工夫 ②落ち着いた雰囲気での学習環境作り ③継続的に取り組めるような家庭学習の設定
6 学 年	新宿区学力調査の結果から ・国語科において、問いに対して文章を書いて答える活用問題や説明的な文章の読み取りに課題のある児童が多い。 ・算数科において、整数や小数の位取り、学年相応の計算問題について課題のある児童が多い。	・友達が書いた問いに対する答えや読み取った内容を共有することで、自身の考えを深めたり、広げたりできるようにする。 ・漢字学習や計算問題など、基礎的な知識の定着に差があるため、児童全員がそれらを身に付けられるように、個々に合った課題を設定する。	①落ち着いた雰囲気での学習環境作り ②様々な教科におけるペアやグループでの対話場面の設定 ③計算練習の時間の継続的な確保 ④継続的に取り組めるような家庭学習の設定 ⑤デジタルドリルの活用